

press release

-Power of Dreaming

Moe Nagata



少女のこころを
忘れないあなたへ

永田萌一夢みるチカラ展

会 期：2012年12月5日(水)～2013年1月14日(月・祝)

休 館 日：12月26日～1月1日

開館時間：9:00～17:00(金曜日は19:00まで)

※12月5日(水)は10:00から。入館は閉館30分前まで。

料 金：一般1000円(800円)

高・大学生600円(400円)

中学生以下無料

※()内は前売・20名以上の団体



- JR広島駅より約1km
- 広島城より約400m
- 市内電車(「八丁堀」で乗り換え)白島線で「縮景園前」下車約20m



広島県立美術館

Hiroshima Prefectural Art Museum

〒730-0014 広島市中区上鞆町2-22 TEL(082)221-6246
http://www1.hpam-unet.ocn.ne.jp/ FAX(082)223-1444



【展覧会内容】

「現実をしっかりと生きていないと、夢は描けない。」—永田萌の夢みるチカラ

色彩豊かで透明感に秀でたカラーインクを駆使して、妖精や花を独自の世界観で表現し続ける永田萌。自然に恵まれた兵庫県加西市に生まれ育ち、移り変わる季節の中で芽吹き、花咲く風景に、やがて精霊の存在を信じるようになったそうです。一方、ユニークなご両親のようで、椅子に乗ってはいけないというルールを守れば、家中どこに落書きをしてもよかったといえます。襖の裏に模造紙を貼り、いっぱいになったら貼り重ね、壁を塗り直しては乾くの待ちました。そして、両親は子どもの絵をまず誉め、指導はしませんでした。永田萌は幸せな子ども時代を経て、絵を学ぶために京都へ旅立ちます。

卒業後、グラフィックデザイナーとして仕事をしていた作者は、やっぱり好きな絵を描いていきたいと1975年にイラストレーターとして独立、1978年に初めての絵本『もえと妖精たち』を自費出版、これが永田萌の大きな転機となりました。『花待月に』で1987年ボローニャ国際児童図書展青年部門グラフィック賞を受賞、「ふみの日」シリーズなど記念切手も手がけ、近年は友禅技法を取り入れた絹絵やリキッドアクリル絵具など新たな領域にも果敢に取り組んでいます。

「現実をしっかりと生きていないと、夢は描けない」という永田萌の描く妖精は、現実の子どものフォルムに羽が描かれています。2年生と3年生の1学年の違いを描き分けるために、小学校の前でじっと観察し続けたこともありました。花を描くときには、植物の形態を観察に基づいて表現しています。妖精が花に座っているときは転がり落ちないように、花の中にいるなら背中が痛くないように、妖精たちが危なくないように考えられています。

この展覧会では、永田萌の花と妖精のいる不思議な世界を150点以上の作品でご紹介します。当館での展示のため、この夏に描かれた未発表の新作を一番にご覧いただける機会です。

※ 作家による講演会、ギャラリートーク、サイン会など、イベントも要チェック。妖精の羽と衣装を身に付けてモエ・ワールドで記念撮影できるワークショップも準備中です。どうぞお楽しみに！

(主任学芸員 福田浩子)

Moe
Nagata

少女のころを
忘れないあなたへ

【出品作品図版】

※出品作品は、予告なく変更となる場合がございます。ご了承ください。



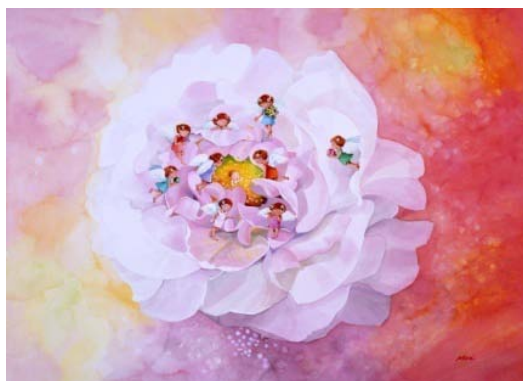
《風の翼》2012



《小さなもえ》1978



《夕焼け色のコンチェルト》2011



《夢のはじまり》2012



《キュンキュンきのご組》2008



《白いらくがき》1978

Moe Nagata



【プロフィール】

デザイン会社、出版社、製菓会社でグラフィックデザイナーとして勤務した後1975年にイラストレーターとして独立。「カラーインクの魔術師」と呼ばれる技術と色彩感覚、花と妖精をテーマにした夢あふれる作風で、画業37年を経た今も第一線で筆をとる。

これまで絵本、画集、エッセイなど140冊を超える出版物の制作とともに、広告媒体や企業商品等のコマースアートも両立。公共機関に設置される陶板画や舞台ホールの緞帳も含めて作品の展開は幅広い。郵政省(現日本郵便)発行の切手制作も、これまでに39種を手がけている。

1987年に『花待月に』(偕成社)でボローニャ国際児童図書展青少年部門グラフィック賞を受賞。

2000年に開催された国際淡路花博(ジャパンフローラ)では、公式ポスター、キャラクターマークを制作した。国内では数多くの定期的な巡回展の他に、デンマーク、台湾、フランスでも作品展を開き、積極的に可能性を開いている。

また近年、白い絹地に染料で描く「絹絵」に着手し、これまでの画材では不可能だった屏風や掛け軸などの展開にも意欲を燃やす。

行政・教育関連の各委員会にも多数携わり、社会貢献の意識を保つよう努力している。自身のマネージメントを業務とする株式会社妖精村を拠点に活動中。

※「永田萌オフィシャルサイト」より転用。



【作品について】

使用する画材はカラーインクです。透明度の高さと発色の良さが特徴で、永田萌が表現しようとする軽やかで美しい色彩の世界に一番適した画材です。紙は水彩紙を使います。

カラーインクは、もともとデザイン分野で使用されていた歴史の浅い画材で、日本でもカラーインクのみで制作する作家はごく少数とか。

その理由のひとつ、褪色という最大の弱点をかかえているため作品の保存が難しいことが考えられます。展示会場でも褪色への対処が最大の課題です。厳重な保存状態でも自然褪色をしますが照明を直接あてると、2週間目くらいから褪色が始まり、ピンク、紫、グレーなどパステル系のやさしい色合いから色が落ち始め、強めの赤や青色は反対に黒ずんできます。

ですから、皆さんの目にふれる展示会での作品はすでに描いた直後よりも、少し色が落ちています。「こんな色で描きたい」と思った作者の筆あとを正確にたどりたい、と思われたら、どうぞできる限り機会を逃さず原画展にお運びください。

またカラーインクは、湿度や気候などに左右されたり、思いどおりにならない自由人。その意外性と先達のない未開分野を開拓する魅力も大きく、永田萌にとって弱点はあっても一生つきあいたい画材のようです。

※「永田萌オフィシャルサイト」より転用。

press release

-Power of Dreaming



【どうしても参加したくなってしまうイベント各種】

①講演会「夢見る力が育んだもの」

日時：12月9日(日)13:30～(開場30分前)

講師：永田萌(イラストレーター・絵本作家)

会場：地階講堂

※聴講無料。申込不要(先着200名)

②作家によるギャラリートーク

日時：12月5日(水)、1月5日(土)10:00～

講師：永田萌(イラストレーター・絵本作家)

会場：2階展示室

※聴講無料(入館券が必要です)

③サイン会

日時：12月5日(水)11:00～／12月9日(日)15:00～／1月5日(土)11:00～

会場：1階ロビー

※当日先着60名。各日30分前からグッズ売り場にて整理券をお渡しします。ご購入いただきました書籍、複製画にサインをします(お一人様1回)。

④ギャラリートーク

日時：12月7日(金)、21日(金)、1月11日(金)11:00～／12月7日(金)、1月4日(金)18:00～

講師：当館学芸員

会場：2階展示室

※聴講無料(本展の入館券が必要です)

⑤永田萌・絵本の読み語り

12月15日(土)13:30～

会場：2階展示室内絵本コーナー

読み手：村上美和(読み語りボランティア)

※参加無料(本展の入館券が必要です)

⑥あなたも妖精になってみませんか？

展覧会会期中、妖精の羽根と衣装を身に着けて、永田萌作品の世界の中で自由に写真撮影できます(妖精の衣装はこども用・女性用があります)。カメラはお持ちください。

会場：2階ロビー

※参加無料 ※12月8日(土)、12月23日(日)は撮影会となります

⑦プロカメラマンによる妖精撮影会

妖精になったあなたをプロカメラマンが撮影、その場でプリントしてプレゼントします。

12月8日(土)、12月23日(日)10:00～、13:00～、15:00～

会場：2階ロビー

※各回20名程度、10分前から整理券をお渡しします。 ※参加無料(本展の入館券が必要です)。

お問い合わせ先：当館またはRCC文化センター082-222-2276

⑧ウェブ・レポーター大募集！！

インターネットで情報発信をされている方に永田萌展をご鑑賞いただき、その素敵な感想をインターネットを通じて、情報発信していただきます。もちろん、ウェブ・レポーターとして当日ご参加いただく方は、無料で永田萌展をご鑑賞いただけます。

日時：12月7日(金)17:00～18:30

受付場所：2階特別展入口 実施場所：2階展示室内

対象：ホームページ、ブログ、ツイッター、フェイスブックなどのSNSにて情報発信をされている一般の方

特典：実施当日限り、永田萌展にご招待



【開催概要】

展覧会名称

永田萌一夢みるチカラ展

開催クレジット

主催 広島県立美術館、中国新聞社

後援 中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、エフエムふくやま、尾道エフエム放送、FMIはつかいち76.1MHz、FMハムスター79.0MHz

企画協力 株式会社妖精村

協力 オーシマスタジオ、専門学校文化服装学院広島校

平成24年度文化庁文化芸術振興費補助金(文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業)



会期

平成24(2012)年12月5日(水)～平成25(2013)年1月14日(月・祝)

休館日 12月26日～1月1日休館

入館料

一般:1,000円(800円) 高・大学生:600円(400円)

※()内は前売り・団体20名以上

※中学生以下無料

※身体障害者手帳,療育手帳,精神障害者保健福祉手帳及び戦傷病者手帳の所持者と介助者(1名まで)の当日料金は半額

※東日本大震災避難者は無料

※特別展入館券で所蔵作品展もご覧いただけます。

問い合わせ先

広島県立美術館

〒730-0014 広島市中区上幟町2-22

TEL.082-221-6246 FAX.082-223-1444

担当 学芸課 福田浩子

事業推進課 山本恵子